



あ い こ せ た め

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742
HP アドレス <http://www.shimanet.ed.jp/yoshika/>

魅力化がめざすもの

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

平成27年度がスタートしました。4月9日に33人の新入生を迎えて、学校に活気が戻ってきました。多くの1年生がすでに部活動に参加しています。人数が少なくて思うような練習ができずに苦しんでいた運動部が見違えるようです。「やっとポジション練習ができるようになりました。」バレーボール部員のこの言葉が象徴的です。練習に励む生徒の表情にも張りややる気が増し、かけ声も大きくなったように感じるのは気のせいでしょうか。生徒数が増えることの意義をあらためて感じます。

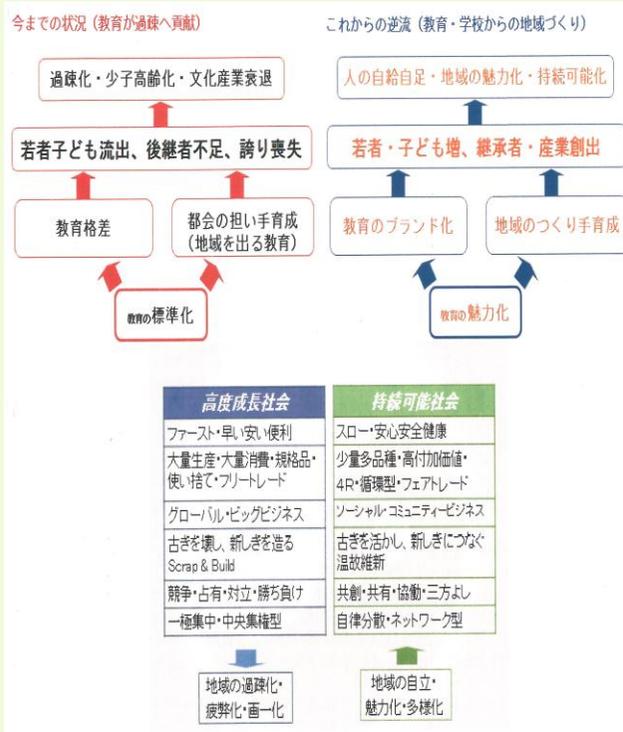
今年入学生が増えた陰には、地域の働きかけがありました。直接中学生と関わる中学校や吉賀町教育委員会だけではなく、バレーボール、サッカー、ソフトテニスなど地域のスポーツの指導者の皆さんも様々な形で動いて下さいました。心から感謝を申し上げます。

さて、島根県教育委員会の「離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業」は今年度で5年目を迎えます。高校の魅力化について、岩本悠氏（前隠岐島前高校魅力化プロデューサー・現在は島根県教育委員会教育魅力化特命官）は次のような図を使って説明されます。

教育の「標準化」は、全国どこでも一定レベルの教育を保障しようという考えを示した言葉です。しかし、この考え方に立っている限り、人口が少なく（したがって競争も少ない）、経済力にも差がある地方は、どうしても都会に劣ることになります。若者は、より多くのチャンスを探求めて都会へ流出していきました。

そうした流れを変えようというのが「魅力化」です。「標準化」ではなく、その地域に根ざした魅力ある教育を創造しようというものです。吉賀高校も、吉賀町に根ざした、吉賀高校でしかできない教育をめざしています。

その時に忘れてならないことは、「魅力化」の評価指標は、生徒の成長した姿であることです。子ども達の「学ぶ力」（学習意欲・知的好奇心・学習計画力など）を育て、入学した生徒全員が「吉賀高校に来て良かった」と思うようになることをめざして努力していくことを、年度当初、教職員で確認しました。



◎ 入学式

4月9日(木)に入学式が行われました。今年度の新入生は33名で、その内の2名は県外からの入学生です。吉賀中学校出身の小田さくらさんが新入生代表宣誓、柿木中学校出身の山口翔くんが対面式での新入生代表挨拶をしてくださいました。

新入生の中には、入学前の春休みから部活動に参加している人もいますなど、新入生の希望に満ちた笑顔で校内は一段と活気づいています。今後の成長と活躍が楽しみです。



◎ 遠足

4/21(火)に、2年生は平和記念資料館とマツダスタジアム（広島）、3年生はスペースワールド（福岡）に行きました。（1年生は、学校でスタディーサポート（模試）を実施しました。）

<2年生>2年生27名は広島市の平和記念資料館と広島東洋カープの本拠地であるマツダスタジアムを見学して回るスタジアムツアーに行きました。

平和記念資料館では、原爆被害の実相や核兵器の現状などについて学習しました。被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料を目の当たりにして、皆言葉を失っていました。

スタジアムツアーでは、球場が太陽光パネルによる発電や雨水の再利用を行っているエコスタジアムであることを学んだり、ダッグアウトやロッカールーム、ブルペン等を見学して回りました。そして黒田投手がグラウンドで練習する姿を間近で見ることができたことも大きな驚きと喜びでした。

<3年生>前日までの荒天が嘘のような初夏の陽気の中、生徒たちは園内で楽しい時間を過ごしました。彼らにとっては高校生活最後の遠足となります。九州最大のコースターに乗る者や、買い物をする者など思い思いの時間を満喫していました。



◎ 新任者紹介



梅木 啓之 [事務長]

新任の事務長として参りました。前任は県庁農畜産振興課です。出身は雲南市三刀屋町（緑色の桜が咲くことでちょっとだけ有名な町）です。吉賀町も桜やかたくり、シャクナゲなどきれいな花がたくさん咲くところのようなので見るのを楽しみにしています。吉賀高校のために精一杯がんばっていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

長谷川 幸 [商業]

浜田商業高校から赴任してきました。新学期が始まる4月8日、男子生徒が「新しい先生だー!!」と言ってくれてとても嬉しかったです。

生徒の皆さんや先生方が明るく笑顔で接して下さるので、毎日楽しく過ごせることが幸せです。吉賀町の素敵なおところをたくさん探そうと思います。よろしくお願いいたします!!



毛利 裕子 [理科]

益田高校から赴任してきました。通勤の道すがら、色とりどりの花が見られ、ついこの前はこいのぼりが掲げられ、四季折々の景色が楽しめます（冬は少し不安ですが...）。ちなみに皆さんは理科が好きですか？理科をなぜ勉強するのか？その問いかけに応えられるような授業をしていきたいです。一緒に勉強していきましょう。よろしくお願いいたします。



瀧口 基行 [生物・環境]

吉賀町幸地に家があります。非常勤講師として週3回（水、木、金）、生物と環境を教えるため学校に来ます。昔から、地域づくりには関心を持っているつもりですが、それほど活動はしていませんでした。これからは地域づくりにも力を入れたいと思っています。



佐々木 淳子 [警備]

昔から色々な表情を表し強さと優しさをもったこの土地の、豊かな自然に寄り添うことで、たくましさ、夢を実現させていく能力さえ養われる気が致します。

そういう環境の下、出身校での勤務が出来ることは、大変に嬉しいことと感謝しながら誠意を携えて取り組んで参りたいと思います。

高津 和枝 [警備]

私は、生まれも育ちも吉賀町で、この地から出たことはありません。方言まる出しのおしゃべり好きです。

少しでもお役に立てればと思いこの仕事を受けました。私なりに頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



◎ 部活動

〈女子バレー〉【中国高等学校バレーボール選手権大会島根県予選大会】4/17（金）－松江商業高校－
吉賀1-2 松江西(23-25, 26-24, 22-25)
吉賀0-2 島根中央(19-25, 21-25)

女子バレーボール部は部員不足のためしばらく公式戦出場から遠ざかっていましたが、地域の皆さまをはじめ多数の方々からのご支援のもと、2年生2名に1年生6名を加えた合計8名で22か月ぶりの公式戦出場を果たすことができました。

当日は試合会場の松江市まで多くの方々に応援にかけつけていただきました。2試合とも粘りはした試合でしたが、勝利を届けられなかったことが大変悔しく残念でなりません。今大会での経験や反省を今後に生かし、「勝利」を目指して選手・顧問ともども精進してまいります。今後とも吉賀高校女子バレーボール部をよろしくお願いいたします。



〈ソフトテニス〉【益田市春季ソフトテニス大会（個人戦）】

4/19（日）－益田運動公園－
兒玉飛鳥・正中ペア：準優勝 河野・中村蒼来ペア：第3位
道面・桑原ペア：ベスト8 宗内・兒玉桃香ペア：ベスト8

予選リーグは各ペア2位で通過しましたが、決勝トーナメントでは、良い試合運びが出来、入賞しました。また各自の課題が明らかになった大会でした。この反省を総体に向け調整していきます。雨の中でしたが、地域・保護者の方に応援に来て頂き、大変感謝しています。



〈サッカー〉【島根県ユースリーグ3部（西部）第1節】

4/19（日）－島根県立サッカー場－
吉賀高校 1 - 1 江津工業高校

前半は相手の素早いプレスに落ち着いて対応することができず、不運な失点も重なり0-1で折り返した。後半に入り相手の運動量が少なくなり、優勢に試合を進め同点に追いついたが、勝利までは後一步届かなかった。総体までにもう一度鍛え、良い結果を残したい。



〈陸上〉【第40回益田陸上競技大会】4/19（日）－益田陸上競技場－

一般高校男子100m予選：井上 雄大 13秒25

雨の中の競技となったが、昨年度の記録を更新することができた。5月の大会では、更に好記録が出せるよう、日々練習を積んでいきたい。



◎ 地域クラブ

4月18日（土）に柿木基幹集落センターで開催された「高津川アースデイ」に、地域クラブから3年生の小田萌子さんと石田梨紗さんが参加し、自分たちが行ってきた環境保全活動についての発表と、ステージ発表の司会を行いました。パワーポイントを駆使してわかりやすく、堂々と発表してくれました。



編集後記：新入生33名を迎え、全校生徒89名、教職員29名で新年度がスタートしました。今年度も、学校行事や部活動、地域の行事への参加など、生徒達の活躍ぶりを紙面を通してお伝えします。吉高生の応援をよろしくお願いいたします。（総務部）